

■ モーターに無理(過負荷)がかかった場合にはディスポーザの運転を自動停止します。

●フタスイッチONでブザーが3回(ピ、ピ、ピー)鳴る場合

過負荷を検知して安全装置が働いています。異物等がかみ込み、ターンテーブルが回転しない可能性がありますので、次頁①～③の手順で過負荷の原因を取り除いたうえで、30分ほど使用をお控えください。

※安全装置は一定時間後に自動解除されます。

お使いの前に必ず次頁の手順でターンテーブルが回転する状態であることを確認してください。異物がかみ込んだ状態では再び安全装置が作動します。

安全装置が自動解除されない場合や頻繁に停止してしまう場合は、漏電保護プラグをコンセントから抜き、LIXIL修理受付センターにご連絡ください。

●フタスイッチONでブザーが連続して(ピ、ピ、ピ…)鳴る場合

モーター故障を検知して安全装置が働いています。漏電保護プラグをコンセントから抜き、LIXIL修理受付センターにご連絡ください。

●フタスイッチONでブザーが普段どおり1回(ピー)鳴る場合

本体リセットボタンが働いています。(次頁①～④の手順で解除してください)

●フタスイッチONしてもブザーが鳴らない場合

次のケースが考えられます。詳しくは取扱説明書を参照ください。

- ・漏電保護プラグがコンセントに差し込まれていない。
- ・漏電している(漏電表示ランプが点灯している)。
- ・ご家庭のディスポーザへの電力供給ブレーカーがONになっていない。

各項目を確認されたうえでもディスポーザが動かない場合は、漏電保護プラグをコンセントから抜き、LIXIL修理受付センターにご連絡ください。

ディスポーザが動かなくなった場合の復旧手順

■ 異物等のかみ込みでモーターが停止した場合は、ロック解除工具で復旧させます。

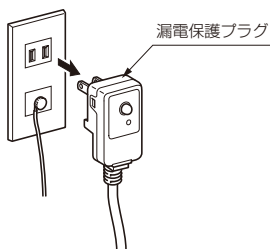
禁止

コンセントを差し込んだままディスポーザ内部に手やロック解除工具などを入れないでください。

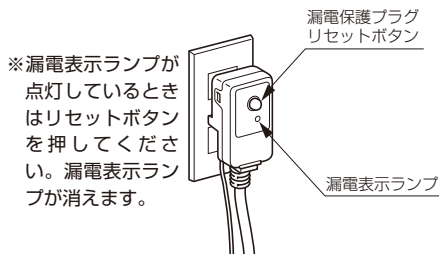
※万一誤作動した場合にケガの恐れがあります。



1 漏電保護プラグをコンセントから抜きます。

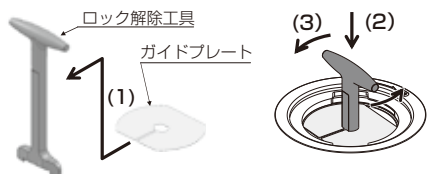


3 漏電保護プラグをコンセントに差し込みます。



2 ロック解除工具でかみ込みを解除します。

- (1) ロック解除工具にガイドプレートをつけます。
 - (2) ディスポーザ内部に向かってまっすぐ差し込みます。
 - (3) 押し込みながら反時計回りにハンドルを回します。かみ込みの場合ハンドルが重く感じられますが、そのまま力を込めて回してください。軽く回るようになればかみ込みは解除されています。
- ※力を込めて回してもかみ込みが解除されない場合はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。



4 ディスポーザ本体下部にあるリセットボタンを押し込みます。

